

防災協だより (136号)

【発行所】(公社) 神奈川県高圧ガス防災協議会
 横浜市中区尾上町1-4-1 (関内STビル11階) 電話045-212-1454
 【編集責任者】企画部会長 山田 信之
<http://www.kanagawa-bousai-hpg.or.jp>

2021年度事業中間報告

1 2021年度 行政・警察・消防・防災事業所連絡会議

例年、各地域における防災事業所と関係機関との連携強化及び情報の共有化を目的に当該会議を行っており、昨年度は折からのコロナ禍影響により予定会場が使用できなくなった関係で急遽、書面会議と致しましたが、今年度は未だコロナ禍影響は残るものの、感染予防対策に十分考慮しながら予定通り下記6地域での会議を致しました。

※昨年度は書面開催につき、実績は1次調査受領、会議資料送付先の実数を示す。

地区名	開催日	会場名		出席者数				
				防災事業所	行政(県・政令市)	警察	消防	合計
川崎	6月11日(金)	かわさき保育会館	第5会議室	8	5	8	1	22
横三	6月15日(火)	横須賀市文化会館	第1会議室	4	2	8	9	23
湘南	6月17日(木)	平塚市商工会議所	第1・第2会議室	8	2	6	6	22
県西	6月23日(水)	小田原市民交流センター	会議室1・2	7	1	2	4	14
横浜	7月1日(木)	波止場会館	5F多目的ホール	6	5	19	8	38
県央	7月6日(火)	サンエールさがみはら	第1研修室	15	3	6	8	32
合計				48(56)	18(7)	49(48)	36(61)	151(172)

()内数字は昨年度実績

今年度の資料提供は従来の会議方式の内容を踏襲しつつ、

- ①各行政からのお知らせとして所管の高圧ガス事故の発生状況資料
- ②神奈川県警からのお知らせとして東京2020オリ・パラ競技大会関連資料
- ③当協会からのお知らせとして今年度協会事業の概要資料
- ④当協会からの報告として昨年度実施したアンケート調査結果報告資料
- ⑤当協会からの報告として現状の防災事業所一覧資料

を資料提供し、最後に昨年度のアンケート結果等を基に一昨年度まで取り組んだ机上訓練の今後の進め方について各地区で議論しました。

来年度も今年度の議論を踏まえて種々の取組を織り込んで連絡会議を実施していきますので、ご理解とご協力をお願い致します。

2 2021年度 高圧ガス運送基準指導及び運送指導員資格取得更新講習会

例年通り高圧ガス運送時における事故の未然防止に向けた事業として、各種講習会に取り組んでいます。とりわけ、「高圧ガス運送基準指導」は協会が定める運送基準を基に構成されており、県内9会場において開催しており、現在までに4会場で講習が終了しました。

2018年度から運送員講習、運送指導員講習とも「行政からのお知らせ」の時間割を設け、これまでの3限制から4限制に変更し、また、運送指導員講習についてはこれまで新規受講者のみ終了考査を実施していましたが、受講者全員への終了考査実施を義務付けました。これら

は、行政における高圧ガス関係権限の一部移譲や高圧ガス運送基準の協会基準化に伴うものであり、特に運送指導員の選任権限を事業者に付与したことから、協会としては運送指導員の皆さんに重要情報を確実に把握してもらうために実施しているものです。

また、今年もコロナ禍影響により講習会場の受入れ定員が従来の半分程度に制限されており、昨年度の受講応募数を考慮し、今年度は県央地区で2回開催（9/22：相模原、9/30：厚木）、湘南地区も2回開催（10/20：茅ヶ崎、11/10：藤沢）し、年度としての講習開催を従来の7会場から9会場に増やしています。

今年度中の講習については所謂「3密」を防ぎながら、感染防止策に細心の注意を払いながら実施していきますので、受講者の皆様のご理解とご協力をお願い致します。



川崎会場



横須賀会場



小田原会場

地区名	開催日	会場名	講習種類	受講者数 (人)			
				更新受講	新規受講	合計	前年度
川崎	7月9日(金)	かわさき保育会館	運送員	—	—	174	113
横三	7月15日(木)	横須賀市民文化会館	運送員	—	—	131	88
			指導員	98	23	121	108
県西	8月19日(木)	小田原市生涯学習センター	運送員	—	—	201	166
横浜1	9月7日(火)	横浜市開港記念会館	運送員	—	—	定員:200	227
			指導員	—	—	定員:200	250
県央1	9月22日(水)	相模原南市民ホール	運送員	—	—	定員:180	188
			指導員	—	—	定員:180	170
県央2	9月30日(木)	厚木市文化会館	運送員	—	—	定員:150	144
			指導員	—	—	定員:150	143
湘南1	10月20日(水)	茅ヶ崎市民文化会館	運送員	—	—	定員:180	176
			指導員	—	—	定員:180	178
湘南2	11月10日(水)	藤沢市民会館	運送員	—	—	定員:200	—
			指導員	—	—	定員:200	—
横浜2	12月22日(水)	横浜西公会堂	運送員	—	—	定員:200	270
			指導員	—	—	定員:200	261

運送員・運送指導員証に関する注意喚起

初めて運送員講習会に受講される場合に持参する運送員証に必要事項が未記入で提出する受講者が続発しています。

持参させる運送員証に、「受講者の顔写真・氏名・生年月日・事業所名」等、必須事項が記載済みかどうかを事業者に於いて、必ず確認をお願い致します。

※特に顔写真が貼られていないケースが多く、受講者本人が講習会へ来たことを確認するためのものでもあるため、特に注意喚起をお願い致します。

注意1 (高圧ガスの運送途上は必ず携帯すること。)

2 (運送員証には必ず運転者本人の顔写真を貼ること)

3 (運送員証には必ず指導員の番号、氏名を記載すること)

4 (運送員証には必ず事業社名を記入すること)

2021年度(第36回)関東高圧ガス保安大会中止のお知らせ

9月10日(金)、東京ガーデンパレス(東京都文京区湯島)において開催予定であった2021年度(第36回)関東高圧ガス保安大会は昨年に引き続き、コロナ禍影響を考慮し中止となりました。

前号機関誌(135号)にて開催のご案内を致しましたが折からの世情変化に伴い、中止も止むを得ないと判断するに至りました。

来年以降、コロナ禍が収まりこれまで通りの大会運営が可能になることを祈りつつ、まずは中止のお知らせを致します。

2021年度(第49回)神奈川県高圧ガス地震防災緊急措置訓練

これまで県内6地域の持ち回りで当該訓練を実施してきましたが、2018度から行政4区分(神奈川県、横浜市、川崎市、相模原市)の持ち回りに変更となりました。

今年度は川崎市の所管で麻生水処理センター(最寄り駅:小田急柿生駅)での訓練実施となり、以下の要領で実施されます。

訓練開催日時:2021年10月14日(木)13時~16時

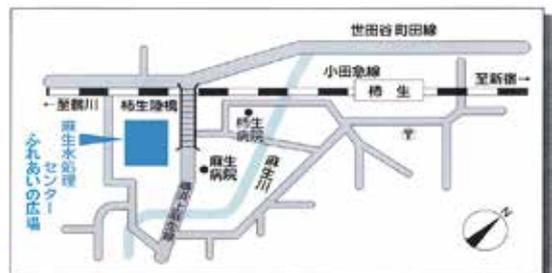
訓練会場:川崎市麻生水処理センターふれあい広場(川崎市上麻生6-15-1)

訓練概要:高圧ガス燃焼特性、基本措置訓練、取扱形態別訓練等

主催 神奈川県、川崎市、県内5保安団体

関係機関 神奈川県警本部、麻生警察署

※今年度訓練も昨年同様にコロナ禍影響を考慮し、一般見学は受け付けず、訓練参加者並びに事前登録の関係者のみで実施致します。ご理解の程、宜しくお願い致します。



第16回神奈川県高圧ガス火薬類保安大会の開催

開催日時:2021年10月26日(火)14時~15時

開催場所:神奈川県立県民ホール 小ホール

※今年度はコロナ禍影響を考慮し、県知事表彰、各団体会長表彰の表彰式のみ実施し、記念講演並びに祝賀パーティーは中止となりました。

※以上より、受賞者(随行者含む)と大会関係者のみで執り行いますので今回は会員事業所からの参加を募りませんのでご理解の程、宜しくお願い致します。

※当協会会長表彰受賞者には第2回理事会(9/16)にて承認後、協会事務局より個別にお知らせ致します。

会員事業所紹介

旭化成株式会社川崎製造所

弊社のルーツは1922年（大正11年）に滋賀県の膳所で始めた繊維事業と、1923年（大正12年）に宮崎県の延岡で開始した合成化学事業であり、その後、合併や社名変更等を経て、2001年（平成13年）より現社名である旭化成株式会社となりました。お陰様で2022年5月には創業100周年を迎えます。

弊社グループは、繊維・ケミカル・エレクトロニクス事業からなる「マテリアル」、住宅・建材事業からなる「住宅」、医薬・医療・クリティカルケア事業からなる「ヘルスケア」という3つの領域で事業を展開しており、多様な製品や技術・サービスを提供しています。

川崎製造所は、1957年（昭和32年）にポリスチレン、1962年（昭和37年）にアクリロニトリル、1964年（昭和39年）には合成ゴムの製造を開始し、弊社グループとして初めて石油化学事業に進出した製造拠点です。弊所は京浜工業地帯に位置する「塩浜地区」、「浮島地区」の2つの地区で操業しています。

塩浜地区は、アクリル樹脂の主原料であるメタクリル酸メチル、試薬・医療用途等に使用されているアセトニトリル、タイヤ向け原料や耐衝撃性ポリスチレン等の原料として使用されている合成ゴム、コーティング剤や接着剤等に使用されているSB（スチレン・ブタジエン）ラテックス、苛性ソーダ・塩素製造用イオン交換膜を製造しています。またモノマー及び高機能ケミカル、高機能ポリマー領域の研究開発組織を一拠点に集約した川崎イノベーションセンター（KIC）や樹脂・ゴムの材料開発や商品化の研究を行っているポリマーセンターといった研究開発施設を有しています。

浮島地区は、自動車のテールランプ等に使用されるアクリル樹脂を製造しています。

弊所は、レスポンシブル・ケア（RC）の一環として、環境保全・防災活動への取り組みをご理解いただくため、地域の皆様とのコミュニケーションを図り、また公的機関等が推進する各種活動への参加、ボ

ランティア活動への従業員の参加支援などに積極的に取り組んでいます。一例として、弊社の膜ろ過技術を活用して、河川水や深井戸の水などを高度浄化して飲用できるようにする飲料水供給システム「ライフスポット」を所内に設置しています。災害時には、この「ライフスポット」から得られた飲料水を地域に供給するなど、地域の災害支援に活用できる取り組みを行っています。

最後になりますが、弊社は「世界の人びとの“いのち”と“くらし”に貢献」というグループ理念のもと、現場、現物、現実の三現主義を実践し、お客様に信頼されるソリューションを提供していきます。また所内の「安全モニュメント」を日々視界に入れることにより、事故・災害を起こさない決意を日々新たにして、安全を最優先に操業いたします。（公社）神奈川県高圧ガス防災協議会並びに会員各社様には、今後ともご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



田邊工業株式会社相模工場

弊社は、1907年（明治40年）鉄鋼販売業を開業したのが出発点となります。その後、1919年（大正8年）法人に改組し「田邊工業株式会社」を設立致しました。今回ご紹介させて頂く「田邊工業株式会社 相模工場」は1943年（昭和18年）に相模工場を開設し最初は酸素充填工場として始まりましたが、1966年（昭和41年）にLPG充填工場を増設しLPGガスの製造、販売が始まり、今日まで稼働を致しております。

社 是：堅実・積極・誠実

経営理念：私たちは事業活動を通じて社会に貢献する事を使命とし、縁あるすべての人々から信頼される企業を目指します。

社員行動指針：私たちはお客様の立場に立って考え行動します

私たちは自ら考え進んで行動します

私たちは社業の発展をめざして果敢に挑戦します

私たちは明るく働きがいのある職場をつくります

私たちは良識ある社会人として行動します

を企業理念に産業や技術のよきパートナーであるとともに、地域社会やお客様の暮らしに貢献できる企業であり続けたいと考えております。

弊社は工場内に製造設備（プロパン貯槽40t 2基、モーターガス貯槽30t 1基）があり、自社工場からお客様へ配送をしております。現在の設備が竣工してから大きな事故もなく

運営しておりますが、今後も社内の保安教育を徹底し安全安定供給を目指していく所存です。

最後にはなりますが、公益社団法人神奈川県高圧ガス防災協議会の皆様方をはじめとする、公益社団法人神奈川県LPガス協会及び会員の皆様には引き続きご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



会員事業所紹介

東邦酸素工業株式会社

弊社は、横浜市鶴見区に1952年（昭和27年）に設立いたしました。ガス事業としての歴史は古く、戦前まで遡ることができます。前身は「自動車鋳物株式会社（昭和12年設立）」の酸素製造工場であり、当時、同工場で発生する酸素を一部外販したことが事業の始まりとなります。その後戦中、戦後を経て、酸素の需要は社内消費から外販中心に移行したため分離独立いたしました。昭和47年には、液体酸素と液体窒素のCE設備を導入。業界に先駆けて液化ガスのLGCによる供給を開始いたしました。高度成長期の我が国経済の中心であった京浜工業地帯の重工業や研究機関に産業用ガスの供給で支え、また暮らしや生命を支える医療用ガスや食品添加物用ガスを安全、安定的に



供給し続けて参りました。現在は、高圧ガス充填メーカーとして、設備工事、産業機械、環境機器、安定同位元素等の販売と容器耐圧検査で、神奈

川県横浜市を中心に関東一円で事業展開をさせて頂いております。

弊社は、保安活動の基本方針を、産業用、医療用の高圧ガスの製造販売事業者として、安全が確保・維持されていて、はじめて事業の持続的発展が可能となることを自覚し、その実現に向けて「安全は全てのことに優先する」「保安活動は社員全員で行う」「保安関連法令の遵守」としています。

高圧ガスによる災害を未然に防止するため、社内教育や訓練プログラムを策定して、社員全員で保安技術・知識の向上を図り、これを実践するよう努めております。また消費者の皆様には、昨今の新型コロナ感染拡大防止を目的として、WEBでの保安講習会も実施しておりますと共に、CSRの一環として、神奈川県研究者・技術者等学校派遣事業で、県内の小学生を対象とした「なるほど！体験出前教室」を実施させて頂いております。

弊社のコンセプトは、「お客様の視点に立った利便性と品質の高いものを提供する」というものです。強みである多品種少量生産が可能な製造ガスをはじめ、様々に変化を続ける社会に機敏に対応し、地域の皆様にご貢献するよう全社一丸となって取り組んで参ります。

今後とも公益社団法人神奈川県高圧ガス防災協議会、会員各社の皆様には更なるご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

株式会社JFEサンソセンター

弊社は太陽日酸(株)とJFEスチール(株)の合同出資により産業ガス(酸素、窒素、アルゴン)の大量かつ安定供給を目的として1965年に福山製鉄所の稼働と同時に誕生しました。その後、1976年に京浜製鉄所内に京浜工場を設立し、東西の2大生産拠点として設備の増強さらに、2017年には西日本製鉄所(倉敷地区)の酸素工場運営を引き継ぎ、現在は3工場体制で操業しています。弊社では産業の血液と呼ばれる産業ガスを空気から精製分離し24時間365日、お客様であるJFEスチール殿へ供給しています。鉄鋼業界以外にも、化学、半導体、自動車、宇宙、医療、食品など様々な産業に対し産業ガスの供給を行っており、モノづくりの基盤を支えています。最終製品として表舞台に立つことはありませんがモノづくりに産業ガスは必要不可欠なのです。

今回紹介させていただく、京浜工場には空気分離装置が4基あり、そのうち2005年に建設した装置は日本最大級の空気分離装置です(写真参照)。お客様の需要に合わせて装置を運転し安全操業、安定供給を行っています。また、酸素、窒素、アルゴンだけでなくレアガスと呼ばれるクリプトンとキセノンの製造も行っています。

ここで酸素、窒素、アルゴンの製造方法について説明します。弊社の深冷式空気分離装置では-170～-196℃の極低温にて酸素、窒素、アルゴンに分離します。空気中には水分や二酸化炭素分が含まれており、そのまま冷却すると水分や二酸化炭素分が固化し配管を閉塞させてしまうため、装置内に導入する前に水分と二酸化炭素分を吸着材を使い除去します。その後、精留塔に導入された極低温の空気は沸点の差に応じて、酸素、窒素、アルゴンに分離し製品として供給されます。

京浜工場は1976年の創業以来45年間無事故・無災害を達成しており、安全に対する配慮や意識を高く持っています。毎月の安全パトロールでは現場に潜んでいる危険をレベルで区分けし対策方法について話し合い、事故や災害が発生しないようにしています。さらには、各

作業のマニュアルを作成するとともに作業前には危険予知を行うことで、注意点や危険箇所の確認をしてから作業に取り組んでいます。また、高圧ガス製造事業所であるので毎月保安教育を実施し、高圧ガスによる事故を未然に防ぐようにしています。こうした日々の積み重ねが創業以来の無事故・無災害を達成している要因だと考えています。

弊社には創業以来稼働している3基と2005年から稼働した合計4基の空気分離装置がありますが、特に創業以来稼働している3基の老朽化が著しく、異常や故障が多発しています。従来からの現場のパトロールに加え設備の振動や温度といったデータをパソコンに取り組み、解析を行い異常の早期発見できるように取り組んでいます。

これからも産業ガス製造事業所として各モノづくり業界を支えていくために安全操業、安定供給を目指し全力を尽くして参ります。今後とも公益社団法人神奈川県高圧ガス防災協議会、会員各位の皆様方のご支援ご鞭撻を賜りたく、謹んでお願い申し上げます。



協議会からの “お知らせ” と “お願い”

部会県外研修見学会の中止のお知らせ

例年10月から11月にかけて他県の防災訓練や防災施設見学を兼ねて県外研修見学会を実施しますが、今年度もコロナ禍の影響を考慮し誠に残念ですが止む無く中止と致します。

来年度以降も引き続き状況に応じた計画立案を心がけ、当該見学会実現に向けて注力してまいりますので何卒皆様のご理解を賜りたく宜しくお願い致します。

2021年度高圧ガス移動監視者講習会開催予定

(指定する高圧ガス(可燃性、酸素、毒性、液化石油、特殊高圧の各ガス)を一定数量以上移動(輸送)するには『高圧ガス移動監視者』の資格が必要となります。)

講習・検定開催日程	講習・検定会場	定員
〔講習〕 2021年11月17日(水)～18日(木) (2日間講習) 両日とも9時30分～17時30分 〔検定〕 2021年12月3日(金) 10時00分～11時30分	かわさき保育会館 大会議室 川崎市川崎区渡田新町3-2-8 「京急八丁畷」駅下車 徒歩15分	60名
〔講習〕 2022年1月19日(水)～20日(木) (2日間講習) 両日とも9時30分～17時30分 〔検定〕 2022年2月4日(金) 10時00分～11時30分	かわさき保育会館 大会議室 川崎市川崎区渡田新町3-2-8 「京急八丁畷」駅下車 徒歩15分 (当協会HPにてご確認ください) (12月初めに案内掲載予定)	60名

※当協会ホームページに掲載してある「講習開催案内」をダウンロードしてお申込みください。

運送員/運送指導員講習の一部日程・会場変更のお知らせ

当初12/9鶴見公会堂でご案内しておりました当該講習はワクチン接種期間延長に伴い同公会堂が年内使用不可となりました。当協会ホームページにも掲載していますが当該講習は12/22横浜西公会堂に変更となりましたのでご注意ください。

訂正とお詫び

機関誌135号6頁の「神奈川県工業保安関係部署異動状況」一覧に誤記がありました。謹んでお詫び申し上げますとともに訂正のお知らせを致します。

(県西地域県政総合センター 所管地域)

「誤」：町田町 → 「正」：松田町

事務局までお知らせ・ご連絡をお願いします。

社名、住所、組織変更及び人事異動による変更等がありましたら、お手数ですが所定の様式に必要事項をご記入のうえ、防災協議会事務局あてお送りください。

・社名変更 ・組織変更 ・住所変更 ・電話/FAX番号変更 ・協議会ご担当者変更等

【事務局：電話 045-212-1454 FAX 045-212-1455】

E-mail : jim@kanagawa-bousai-hpg.or.jp

URL : <http://www.kanagawa-bousai-hpg.or.jp>

※「所定の様式」は、ホームページからもダウンロードできます。